



おくたま 町議会だより

第192号

令和2年2月5日発行



編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

町議会が新体制となりました



みやのこへい
宮野 亨 副議長
議員歴3期
議会運営委員会正副委員長
等歴任



はらしまゆきお
原島 幸次 議長
議員歴3期
副議長、経済厚生常任委員長
等歴任

就任にあたって

この度、私も原島幸次、宮野亨が正副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、その使命を果たしてまいります。

昨年、今までに無い総雨量610.5mmの台風19号により停電、断水、道路崩壊による孤立、観光業等への甚大な被害が発生しました。多くの時間を要しますが全面復旧に向けて努力しているところでございます。被害を最小限に抑えるため、自助・共助・公助を、住民が各家庭や地域の中でお互いに理解し、実践していくことが重要です。ともに支え合う「向こう三軒両隣」の地域社会の実現には三つの「助」を適切に効果的に展開させていくことが有効であり、近道であると言えます。

今後も町民皆様のご期待にお応えできるよう、議員一丸となり、より良い町づくりに努力してまいります。

席番号	議員名	会派名
12	原島 幸次	清新会
11	高橋 邦男	清新会
10	宮野 亨	公明党
9	石田 芳英	都民フアーストの会
8	小峰 陽一	清新会
7	澤本 幹男	清新会
6	大澤由香里	日本共産党
5	木村 圭	清新会
4	小山 辰美	清新会
3	相田恵美子	ガジユマルの会
2	森田 紀子	宇宙会
1	伊藤 英人	どんぐり

第1回臨時町議会

令和元年11月20日、第1回臨時会が開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり承認、可決されました。

○議案第76号

令和元年度一般会計補正予算(第3号)

※専決処分とは

議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるとき等、町長はその議決すべき事件を処分することができること。

【 条 例 】

○議案第77号

令和元年台風第19号に係る奥多摩町救難緊急措置条例

○議案第78号

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○議案第79号

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○議案第80号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【 補正予算 】

○議案第81号

一般会計(第4号)

○議案第82号

都民の森管理運営事業特別会計(第2号)

○議案第83号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第2号)

○議案第84号

下水道事業特別会計(第2号)

第2回臨時町議会

12月2日、第2回臨時会が開催され、正副議長の選挙をはじめ、各常任委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙等、次のとおり決定しました。

◎委員長 ○副委員長

総務文教常任委員会(6名)

◎澤本幹男 ○伊藤英人
森田紀子 石田芳英
高橋邦男 原島幸次

経済厚生常任委員会(6名)

◎小峰陽一 ○小山辰美
相田恵美子 木村 圭
大澤由香里 宮野 亨

議会運営委員会(6名)

◎高橋邦男 ○石田芳英
大澤由香里 澤本幹男
小峰陽一 宮野 亨

西秋川衛生組合議会(3名)

相田恵美子 小山辰美
小峰陽一

秋川流域斎場組合議会(2名)

伊藤英人 澤本幹男

三多摩上下水及び道路建設促進協議会(4名)

副会長 原島幸次
第1委員会(上水) 相田恵美子
第2委員会(下水) 森田紀子
第3委員会(道路) 伊藤英人

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会(2名)

原島幸次 澤本幹男

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会(2名)

原島幸次 澤本幹男

多摩川南岸道路建設促進協議会(7名)

◎高橋邦男 ○石田芳英
伊藤英人 森田紀子
相田恵美子 小山辰美
大澤由香里

議会だより編集委員会 (5名)

◎宮野 亨 伊藤英人

相田恵美子

小峰陽一

高橋邦男

表彰審査委員会 (4名)

澤本幹男

小峰陽一

宮野 亨

原島幸次

青少年問題協議会 (3名)

伊藤英人

森田紀子

石田芳英

下水道事業運営委員会 (2名)

小山辰美

大澤由香里

健康づくり推進協議会 (1名)

石田芳英

国民健康保険運営協議会 (1名)

澤本幹男

環境審議会 (3名)

相田恵美子

木村 圭

宮野 亨

小口事業資金融資制度等審議会 (3名)

森田紀子

大澤由香里

高橋邦男

消防団員等公務災害給与金支給

審査委員会 (3名)

澤本幹男

宮野 亨

原島幸次

西多摩地域広域行政圏協議会審

議会 (3名)

澤本幹男

宮野 亨

原島幸次

三か町村議会議員広域連絡協議

会 (12名)

全議員

大多摩観光連盟 (1名)

参与 原島幸次

奥多摩町・檜原村間連絡道路建設

促進協議会 (7名)

小山辰美

木村 圭

大澤由香里

澤本幹男

小峰陽一

宮野 亨

原島幸次

第4回定例町議会

第4回定例会は、12月17日か

ら12月20日までの、会期4日間
にわたり開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれ
も全議員の賛成により、原案の
とおり可決、同意されました。

【 条 例 】

○議案第85号

成年被後見人等の権利の制限
に係る措置の適正化等を図る
ための関係法律の整備に関す
る法律の施行に伴う関係条例
の整理に関する条例

○議案第86号

地方公務員法及び地方自治法
の一部を改正する法律の施行
に伴う関係条例の整理に関す
る条例

【 人 事 】

○議案第87号

監査委員の選任の同意
木村 圭氏 (再任)
(氷川1479番地)

【 補正予算 】

○議案第88号

一般会計 (第5号)

○議案第89号

国民健康保険特別会計
(第2号)

○議案第90号

下水道事業特別会計 (第3号)

議員提出議案

次の議案が提出され、全議員
の賛成により可決されました。

○議員提出議案第3号

奥多摩町議会会議規則の一部
を改正する規則について

一般質問

令和元年第4回定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、2月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録(結果))

町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。

また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



QRコード

(1) 7番 澤本 幹男議員(5ページ)

- ①厚生労働省公表の「奥多摩病院再編・統合」について

(2) 10番 宮野 亨議員(5ページ)

- ①台風19号の被害から今後の対応について
②獣害対策について
③奥多摩病院の今後について

(3) 3番 相田 恵美子議員(6ページ)

- ①生活館等バリアフリーの実態と今後の整備計画について
②土砂災害に備える地区防災計画の策定について

(4) 11番 高橋 邦男議員(6ページ)

- ①防災力・減災力の強化を！(10月発生 of 台風19号から学ぶ)
②若者定住化対策における「住環境整備」について

(5) 5番 木村 圭議員(7ページ)

- ①台風19号の被害を踏まえ、今後の避難所設定について

(6) 9番 石田 芳英議員(7ページ)

- ①台風19号被害を教訓とした防災対策について

(7) 4番 小山 辰美議員(8ページ)

- ①来シーズンの観光客の誘致について

(8) 8番 小峰 陽一議員(8ページ)

- ①河村町政の過去16年間の成果と今後の町政運営について
②奥多摩町における台風19号による被害と復旧状況及び恒久対策について

(9) 2番 森田 紀子議員(9ページ)

- ①ICTを利用した高齢者の生活利便性向上及び雇用創出による若者層の流入の増大

(10) 1番 伊藤 英人議員(9ページ)

- ①2020年の外国人旅行者への取り組みについて

(11) 6番 大澤 由香里議員(10ページ)

- ①奥多摩病院を守るために
②住民参加型の「災害につよいまちづくり検討委員会」の設置を
③教職員間のパワハラ対策について
～相談窓口の設置を～



会 議 員
新 幹 事
清 澤 本 幹 男

問 厚生労働省公表の「奥多摩病院再編・統合」について

答 「廃止」に向けた検討を行うことは考えていない

質問 厚生労働省は「再編・統合」

の検討が必要な病院として424の公立・公的病院の実名を発表し、その中に奥多摩病院も入っていた。これは2025年に向けて、地域医療構想ワーキンググループの議論に基づくもので、今後の医療は、脳や心臓などの手術が中心の「急性期」から在宅や通院が中心の「慢性疾患」の対応に移っていくこととなる。そこで「急性期」の病床を削減を図るために「再編・統合」が検討された。

しかしこれは、高齢化率が高い奥多摩町の実際の状況を把握して策定したのか疑問である。奥多摩病院は町にとって本場に重要な病院であり、診療実績のみで「再編・統合」を検討すべきではないと考える。

平成30年11月に休診した古里診療所が令和元年10月に再開できて地域住民は大変感謝している。しか

し奥多摩病院が無くなってしまっているのではないかと住民の方々が非常に不安になっている。この厚生労働省公表について、町の考えを問う。

町長 今回の厚生労働省の病院の「再編・統合」といった唐突な公表

は、他の自治体にとっても大きく受け止められ、それぞれの地域において、住民に不安を与えたものであるが、町としては、東京都の西北端に位置し、隣接する山梨県の住民の医療の確保も含め、地域の中核病院として位置付けているので、今後、より効率的な病院として議論することとはあっても、「廃止」に向けた検討を行うことは考えていない。

今後でも公立「奥多摩病院」の必要性や重要性を国や都に大いにアピールしながら住民皆さんや町に訪れる人たちにより良い医療を提供していくと考えている。



党 議 員
公 明 野 宮 野 亨

問 台風19号の被害から今後の対応について

答 都と町で連携して早期復旧に努めていく。

質問 610mmを越える豪雨によ

り、町は甚大な被害（停電・断水・土砂流失）がでて、観光業にも多大な損失が発生した。この台風を経験し、昨年、衝撃の報道があった「地球温暖化」の影響を受けていることを強く感じた。そして、この温暖化の影響を一番受けるのは、未来の子供たちであると心配するところである。私たち大人が今できることは何か真剣に考え、行動に移すべきであると考える。防災計画の見直しをはじめ、災害に強い町づくりを進めてもらいたい。町の所見を問う。

①遊歩道や登山道を、来春の観光シーズンまでに、補修完成を東京都に要請願う ②わさび田の早期復旧の対策 ③樹木や土砂が流れ、詰まる沢の対策（暗渠の大型化と沢周辺の伐採木の撤去） ④暴風雨等による停電対策としての立木の管理・伐採 ⑤断水対策としての大型ろ過

装置の充実 ⑥避難所としての機能・設備の充実とマンホールトイレの設置を ⑦日原孤立について早急に埼玉県又は峰谷に抜ける迂回道路（観光・シエルター目的トンネル）の開設を東京都や国に要望願う。

町長 ①都が管理する遊歩道等の被災調査など、早期復旧対策を講じるよう11月22日付けで都知事へ緊急要望を行った。②国へ被害総額を報告し、災害査定審査を行い、補助対象事業費の決定があり、今年度から3年間をかけて復旧工事に着手する。③この災害を教訓に構造あるいは強度の再検討を行う。④林業の不振や不在村所有者の増加などにより、その対応が容易でない状況にある。⑤都水道局に検討をしていた

べくよう要請していく。⑥町の立地条件や各避難所の環境に適合するマンホールトイレの調査、研究を進めていく。⑦都に要望していく。



会議員 会議員 会議員
ガジュマルの会
あいだ えみこ 議員
相田 恵美子

問 生活館等バリアフリーの実態と今後の整備計画について

答 施設の建築年度や老朽化、バリアフリー化の状況等を考慮して整備する

質問 地域住民が一堂に会して活動する場としてはもちろん、災害時には避難所としての機能を担うなど、生活館等の役割は重要である。しかし梅澤コミュニティセンターの場合、玄関に段差がある。また、他地域の生活館では入口まで急で狭い階段がある等、改善を要すると思われる場所も見受けられる。多くの住民が快適に利用するためにも、すべての生活館等のバリアフリー化は必須である。①町内の生活館等のバリアフリー化の現状を問う。

町長 ①町特有の地形の影響もあり、斜面や山裾の厳しい立地条件の中で建設された生活館等は町内に数多くある。これらの生活館等は建物や内部の構造が高齢者等にとって利用しやすい施設とは言い難い状況にあることは認識している。

②規模の大きい福祉会館等と同じバリアフリー化を行うことは難しいが、段差の解消や手すりの設置あるいはトイレの洋式化等、実現可能な範囲で多くの方に安全で快適に利用できるよう改修等を前向きに検討していく考えである。また、多発する災害状況から、できる限り安全で集まりやすい立地条件を満たすエリアへの建設が望ましいと考えるが、物理的に困難な状況である。建替えや改修は多くの財源が必要であることから施設の建築年度や老朽化、バリアフリー化の状況等を考慮して計画的に整備を進める。



会議員 会議員 会議員
清新会
たかはし けんじ 議員
高橋 邦男

問 防災力・減災力の強化を！（10月発生の台風19号から学ぶ）

答 給水のバックアップの必要性を痛感

質問 まだ被害の全容をつかめていない状況だと思うが、日原街道の早期の復旧と今回の災害対応の検証を踏まえて、防災力・減災力の強化に努めていかなければならない。そこで、①今回の災害対応においては、「自助・共助・公助」が機能していたが、まだまだやるべき事はある。それは地域における「自主防災組織」の教育や訓練、地域の実態に即した防災訓練（災害を想定した行動訓練）の実施などである。町の考えは。

②今回の災害では、1本の導水管の損壊により町内の広範囲でしかも長期に渡って断水が起こり、住民皆さんが大変な思いをした。広範囲でしかも長期に渡るような断水時には、給水のバックアップシステムなるものがあると良いのではないか。例えば、断水時に他の水源からの給水とか、小河内ダムからの給水など。町の考えは。

町長 ①毎年、総合防災訓練を実施しており、訓練項目は大規模災害を想定し、各自治会で内容を検討した防災訓練を実施している。今後も、災害の発生の恐れがある場合に気象情報や避難情報をお知らせするほか、各自治会には土砂災害ハザードマップを活用し、危険な場所・安全な場所の確認や避難ルートの確認など、実態に即した訓練を実施するよう取り組む考えである。

②都営水道への一元化以降は、配水経路等が変更された地域があり、断水が広域にわたり、その解消までに時間を要した状況が見受けられる。今回の経験を通じてバックアップの必要性を都水道局としても痛感したところであり、同局内でも今回の検証と予備的な取水場所の検討等、講じるべき対策を進めている。町も公助の面から防災減災に努めていく。



会 議 員
新 主 議 員
清 木 村
まきむら けい

問 台風19号の被害を踏まえ、今後の避難所設定について

答 財源確保を図りながら計画的に施設の改修や整備に取り組む

質 問 町指定の広域避難所は7か所、避難所(施設)は38か所ある。

このうち、急傾斜地等の崩壊による特別警戒区域(レッドゾーン)にある避難所は3か所で、①原生活館、②長畑生活館、③南氷川生活館である。①は、東京都で生活館周辺を崩壊防止のアンカーボルトを設置したが、土地の評価はレッドゾーンのままである。②は、避難する時に一度中学校に集合し、生活館の安全を確認してから移動すること。

③は、南氷川自治会では一次避難所に氷川保育園を指定しており、間違っても南氷川生活館に避難しないよう防災訓練等で徹底しているが、町土砂災害ハザードマップでは、南氷川生活館が避難所となっている。また、先日NHKテレビの台風報道で流れたテロップに南氷川生活館が避難所として放送された。

今後、今までは異常気象とされて

問 台風19号被害を教訓とした防災対策について

答 日原地区ヘリポートの設置を要望



会 議 員
の 第 一 議 員
石 田 芳 英
いしだ よしひで

質 問 ①町の「防災ガイドブック」

や「防災マップ」そして「土砂災害ハザードマップ」に関する周知徹底や自治会毎の勉強会・意見交換会、住民皆様からの意見の収集が改めて必要かと思うが、今後の方針は。

②日原が孤立したが、日原地域は日原街道が通行できなくなると袋小路となり、どこからも逃げられなく

なる。それを防止するためには林道等の整備を加速させ、例えば川乗谷林道と大丹波林道を接続させ非常時には逃げ道として確保すべきなど痛切に感じた。この点について町の考えを問う。

③日原地域のヘリポート建設も取り付け道路はあるが、本体工事が進んでいない状況である。早急に対処すべき事項と考えるが町の考えは。

町 長 ①都建設局、町、自治会主催の「土砂災害に備える防災講演会・ワークショップ」や各自治会で開催

する「防災訓練」また「町防災会議」

で避難所等の見直しを含めて、地域防災計画等の見直しを進めていく。

②町所有の林道ではないが、バイパス機能を有した新たなアクセスルートを検討していただけるよう、東京都に対して予算要望をしていく考えである。

③毎年、東京都町村会・東京都町村議長会合同で、都知事、各局幹部及び都議会に対し、次年度の予算要望、実行運動を実施している。2年度は、地域防災対策等に対する支援の拡充として、山間部町村へのヘリポートの設置を要望しており、西多摩地区は多くの観光客や登山客などが訪れる地域であり、地域住民への対策と同様、観光客等への孤立対策などの防災対策も重要となっている。都道の復旧に時間を要することから、改めて日原地区ヘリポートの設置を要望していく考えである。



清新会 小山 辰美 議員
たつみ 辰美 議員

問 来シーズンの観光客の誘致について

答 町は東京都に対して早期復旧の要望を行う

質問 奥多摩町は観光の町として宣言をしている。特に自然美を生かしたウォーキングやトレッキング、登山等に人気がある。しかし、台風19号の被災により、古里から氷川のトレイルコースが崩落し、寸庭橋で通行止め、むかし道も崩落し、中山地区で通行止めとなっている。登山道や林道も被害を受けていると思われる。

4月から始まる大型連休や7月開催のオリンピック・パラリンピック時の観光客誘致にそれらのコースの早急な復旧が必要と思われるが、各コースの復旧対応を町としてどう考えているか。

町長 古里から鳩ノ巣溪谷・数馬峠を経て奥多摩駅へ向かう大多摩ウォーキングトレイルは、寸庭橋から鳩ノ巣溪谷遊歩道を経て白丸ダム堰堤までの間と数馬峠から数馬峠遊歩道を経て海沢地区までの間

は、今年度中の復旧を予定。国道対岸の白丸ダム堰堤から数馬峠橋右岸までの白丸ダム巡視路は、管理する東京都交通局に確認したところ、被害が大きいため、復旧工事の日程等は未定とのことである。

氷川溪谷遊歩道は、役場対岸の遊歩道の一部が崩落し、北氷川橋先の入口より南氷川の山荘・鉢の木までの間が通行止めとなっているが、その他は通行可能。なお、崩落箇所は土砂災害特別警戒区域であるため、都西多摩建設事務所とも協議を行い、復旧方法を検討していく。

各登山道は、町の全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれているので、山中の登山道等の復旧は東京都が施工するが、ビジターセンターからの情報では、全容の把握には至っておらず、多くの路線で通行止めが続いているとのこと。町は引き続き都に対して早期復旧の要望を行う。



清新会 小峰 陽一 議員
こみね 小峰 議員

問 河村町政の過去16年間の成果と今後
の町政運営について

答 今後尚一層スピードを加速し、走っていく覚悟である

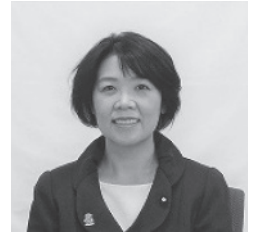
質問 ①町長就任以来16年間のこれまでを振り返り、取り組まれてきた施策について問う。
②令和2年度、町の予算編成に当たり、町政運営をどのようにしていくのか、どう取り組んでいくのか、町長の考えを問う。

町長 ①16年間の成果として
一、町営水道の都営一元化の実現
二、下水道普及率100%の実現
三、ごみ処理事業の広域化
四、秋川流域斎場組合への加入
五、行政改革と財政健全化の推進
六、若者の定住対策と少子化対策の推進

この他にも高齢者や障害者福祉などの分野、また、はとのす荘の建替えなどの観光産業分野をはじめ、それぞれの分野で町民みなさんの声を聞きながら多くの事業を職員と共に進めてきた。今、当町が抱えている過疎化に伴う少子高齢化を

解消しないことには、高齢者の方が安全・安心に地域で暮らすことができなくなること、若い方などの支え手がいなくなることで地域の元気がなくなり、地域の防犯・防災対策にも影響が出てしまう。現在計画実施中の第5期奥多摩町長期総合計画では、将来にわたって住みたい、住み続けたい町の実現に向けて、定住化対策と少子化対策を積極的に推進し、高齢者の方々が安心・安全に暮らしていけるまちづくりを推進している。

②令和2年度には、この計画も後期5か年の折り返し点を迎える。多くの町民の方々に参加いただき策定したこの計画の実現について、自身が責任を持ち、自ら率先垂範、粉砕身して今後尚一層スピードを加速し、走っていく覚悟である。議員をはじめ町民の方々の更なるご支援とご協力をお願い申し上げる。



宇もりた森田のりこ議員

問 ICT利用で高齢者の生活利便性向上と雇用創出で若者層の流入増大

答 先進自治体の事例等を参考に研究していく

質問 町には光回線が敷設されていて、2016年から町内のJR青梅線5駅周辺エリアで公衆無線LANサービス「OKUTAMA Free WiFi」の提供を開始している。そのようなICT環境の整っている町で高齢者の方に買い物や映画鑑賞、各種チケットの購入、支払、読書、電車の乗換案内、動画の撮影、投稿または世界中の人たちとの出会いなど、生活の利便性を高めるため、使い方教室の開催や機材の貸与などの実施が望まれる。

さらに、町に都心部と同じように仕事ができる環境を作るため、町内に5Gの産業エリアを創造し、サテライトオフィスを誘致することで、自然豊かな環境で仕事をし、生活を楽しみ、子育ても充実したのなら若い定住者が増加し、雇用創出も実現できると考える。実際に人口減少に悩む徳島県では県内中に張り巡ら

されている光ファイバー網を活かし「とくしまサテライトオフィスプロジェクト」を立ち上げ、県内11市町村に56社のサテライトオフィスを誘致し、若者層の流入に成功している事例がある。町の所見を問う。

町長 介護予防の観点からそうした施策も選択肢の一つとして考えられる。一方で、教える側の仕組みや組織づくり、ICT機器をどのように確保するか、スマートフォン等を使用したことがない高齢者も少なからずいると思われる状況で受け入れてもらえるか等、多くの課題もあると考え、今後国や都の動向も注視しながら研究していく。

サテライトオフィスは土地開発等を行う場合に不利な立地条件にある町でも、ICT環境整備状況次第で雇用創出等の可能性があると考えられる。今後も先進自治体の事例等を参考に研究していく。



どんぐりいとう伊藤英人議員

問 2020年の外国人旅行者への取り組みについて

答 全ての観光客の皆様満足していただけよう努めていく

質問 東京都では2020年訪都外国人旅行者数の目標を2千5百万人としている。2018年に青梅・御嶽山を除く奥多摩地域を訪れた外国人旅行者数の割合は0.6%（約8万5千4百40人）という調査結果がある。これを試算すると2020年に奥多摩地域へ来訪する外国人旅行者は15万人であり、一日当たり4百人程の想定となる。

来訪者が増えれば、マナー、渋滞、ゴミの問題や山岳遭難などの増加が考えられ、「観光公害（オーバーリズム）」については行政による対応が不可欠である。

東京オリンピック・パラリンピックに向け、多くの訪町者に満足してもらえよう、また懸念される課題を軽減するために、訪町外国人旅行者に関する対応等を検討し、関係部署のみならず町民へも周知し協力を求めるべきでは。観光立町を推進

する町にとって、海外からのお客様に思い出し出をつくらせてもらい、よい評価をしてもらえるよう、町民、民間事業者、行政一体となり町ぐるみで訪町者を迎える2020年としたい。町の所見を問う。

町長 現時点では、町において「オーバーリズム」によるトラブルが発生するに至っているとは言えない状況であり、また、外国人を含む観光客の増加がマイナスイメージにばかり働くとは考えていない。しかしながら、生活文化・習慣の違いや相互理解の不足を背景としたマナー違反等によるトラブルも考えられるので、その対応について町全体で考えていく必要があると感じている。

外国人観光客の増加は、オリンピックだけの一過性の現象ではなく、今後も増加傾向にあると思われるので、全ての観光客の皆様満足していただけるよう努めていく。



日本共産党
おおさわ
大澤 由香
り議員

問 奥多摩病院を守るために

答 今後も公立奥多摩病院の必要性を国や都にアピールしていく

質問 厚生労働省は突然「特に再編・統廃合の議論が必要な病院」を公表し、その中に奥多摩病院の名前も挙げられた。

奥多摩病院は64年にわたって町民の命を守ってきた大切な病院である。山梨県小菅村、丹波山村の患者を受け入れる医療施設としても機能している。様々な病気やけがに対応する総合的な診療を行い、24時間救急車の受け入れもしている。さらに山間部の僻遠地での健康管理や医療ニーズに対応するため、日原地区と峰谷地区の附属診療所への出張診療や在宅で医療が受けられる訪問診療、訪問看護を実施するなど、住民のニーズに合わせたきめの細かい診療も行っている。また、奥多摩の自然を求めてやってくる多くの観光客の命を守るためにも奥多摩病院はなくてはならない病院となっている。

国は相次いだ批判や抗議に対し、不安を招いたのは「反省したい」と述べたものの、一律の基準そのもの見直しもリストの撤回も行う考えを示していない。国側には強制力がないため「病院の統廃合の結論が決まっているわけではない」とも弁解したが、すでに夜間救急受入れの中止や一部病床の減少などの対応例も示し、公的医療体制の縮小を促していく構えである。

このことについて町の受け止めと病院名を公表された影響について、所見を問う。

町長 奥多摩病院で手当てを受け、助けられた命は過去から相当な件数に上ると思われる。何よりも隣接する青梅総合病院までは救急車で1時間を要するので、これでは助かる命も助けられなくなってしまう。今後も公立奥多摩病院の必要性を国や都にアピールしていく考えだ。

議会日誌

11月

- 5日 北京市区友好代表団交流会
- 7日 東京都後期高齢者医療広域連合議会保険料説明会
- 9日 天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典「祝賀式典」
- 12日 全国町村議会議長会「政党との懇談会」
- 13日 全国町村議会議長会創立70周年記念式典他
- 14日 厚生年金への地方議会議員の加入を求める全国大会
- 地方議会活性化シンポジウム2019
- 15日 全国過疎地域自立促進連盟定期総会
- 22日 東京都後期高齢者医療広域連合議会全員協議会・定例会
- 30日 秋の交通功労者等表彰式

12月

- 5日 町正副団長OB会忘年会
- 11日 身体障害者福祉協会忘年会
- 15日 加藤旗争奪駅伝競走大会
- 18日 西多摩地区議長意見交換会
- 19日 歳末たすけあい・赤い羽根募金配分会

1月

- 22日 西多摩地区消防大会出場隊(第1、3分団)優勝報告会
- 7日 青梅商工会議所賀詞交歓会
- 町賀詞交歓会
- 11日 青梅警察署武道始式
- 12日 消防団出初式
- 13日 成人の日の式典
- 15日 東京都後期高齢者医療広域連合議会議案説明会
- 17日 西多摩郡町村議会議長会臨時総会
- 21日 東京都三多摩地区消防運営協議会第二部会
- 22日 議会だより編集委員会
- 町消防団新年会
- 青梅防犯協会役員新年会
- 24日 消防関係六団体合同新年会
- 28日 西多摩地区議長会正副議長賀詞交歓会
- 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
- 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
- 30日 東京都後期高齢者医療広域連合議会全員協議会・定例会
- 町体育協会新年会

次回3月定例会日程（予定）

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26	27	28 議会運営 委員会	29
3/1	2	3	4	5	6 本会議 (議案審議)	7
8	9	10	11 本会議 (議案審議)	12	13 本会議 (一般質問)	14
15	16 予算特別 委員会	17	18 予算特別 委員会	19	20	21
22	23 本会議 (議案審議)	24	25	26	27	28

■会議の予定は変更になる場合があります。
 詳細は議会事務局までお問合せください。
 午前10時開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

お問い合わせ 議会事務局 ☎ 0428-83-2302（直通）

よろしくです



請願・陳情は！

請願・陳情の受付はいつでも行っていますが、3月定例会で審議されるものは、2月21日までに受付けたもので、それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。
 提出する際は、次のことにご注意ください。

- ① 請願には必ず1人以上の紹介議員が必要です。
 （陳情は不要です）
- ② 内容が2種以上にわたるものは、別々に1件ずつ作成し、提出してください。要旨・理由はできるだけ簡潔明瞭にし、楷書で書いてください。
- ③ 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し、署名（記名の場合は押印）してください。
- ④ 道路などについては、案内図や略図を添えてください。
- ⑤ 提出は議会事務局へご持参ください。（郵送不可）
- ⑥ 詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。

政治家の**寄附禁止**について

政治家が、**選挙区内**の人や団体にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず法律で**禁止**されています。
 また、有権者が政治家に対し寄附を求めることも**禁止**されています。

寄附はNO!
 政治家は贈らない!
 有権者は求めない!

●禁止される政治家の寄附の例

- ・病気見舞い
- ・お祭りへの寄附や差し入れ
- ・お中元やお歳暮
- ・地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- ・葬式の花輪、供花
- ・本人が出席しない場合の結婚祝や香典

議会だより編集委員

伊藤 英人 相田恵美子 小峰 陽一

高橋 邦男 宮野 亨
編集委員長

住民皆さんに読んでいただけるよう、見やすく、分かりやすい『議会だより』の発行を目指していきます。



編集後記

1964年の東京大会から56年。いよいよ、東京で二度目の五輪・パラリンピックが開催されます。東京大会は「復興五輪」と位置づけられており、東日本大震災の被災地での競技をはじめ、地震災害に見舞われた北海道の札幌市で行われるマラソンと競歩の盛り上がりは、大きな励まし力となるはず。オリンピックは、「平和の祭典」とよく言われますが、パラリンピックは「人間の可能性の祭典」だと思います。努力し、苦勞して夢に挑み続ける姿は、多くの人に希望と可能性を感じさせるでしょう。英語の「impossible」は「不可能」との意味ですが、「Iとyouの間」にアポストロフを入れると「I'm possible」。「私はできる」となります。町でも小学校全児童はラグビー競技を、中学校全生徒はパラリンピック陸上競技を観戦します。いずれも、子供たちの心に残る貴重な体験となることと期待しております。



編集委員長 宮野 亨